

# 小中一貫教育だより

〔中1ギャップ検討委員会〕

vol.03 令和2年10月

発行：北陵地区

小中一貫担当

【3校の教育目標】夢や目標の実現を目指し、たくましく生きる北小樽の児童・生徒の育成

## 子供が切磋琢磨できる学習環境の整備に向けて

10月19日に、第3回【拡大】小中一貫教育推進委員会を行いました。今回は、合同授業に向けて5・6年生の担任や特別支援、合同授業者（音楽、美術、保健体育）の先生方にも集まっていただき、打ち合わせを行いました。コロナ禍において、学校の新しい生活様式 Ver.4 に即した感染症対策を行った上で、各学習活動を実施していきます。



～会議録から～

### ●教育課程部会 （部長）吉田先生 （副部長）藪田先生 （担当）庄司教頭

#### ①学園制 合同授業の授業内容について

ア 体育 器械運動（マット運動） 名札として布テープを用意  
前転、後転、開脚前転、飛壁倒立など

イ 美術

5年 スタンピング、ドリッピング（絵の具をたらしてストローで吹く）で動物を描いたり  
描いた絵が何に見えるかを考える、個人作業、絵の具セットは小学校から持参

6年 鉛筆画の基礎

ウ 音楽 歌唱指導、合唱

5年生は、遊び要素を取り入れながら行う。6年生では中学校との接続を意識した内容。

特別支援の生徒は、6年生は交流学級で授業、5年生は別教室で授業予定

### ●学力向上部会 （部長）青柳先生 （副部長）平口山先生 （担当）植松教頭

①全国学力・学習状況調査 読解力に課題がある 算数・数学では学習意欲の低下  
基礎学力の未定着は、学年が上がるにつれ大きくなってしまっている実態がある

②家庭学習強化期間 11月…6年生対象、2月…5・6年生対象

算数ノートのコピーを1～6年生まで配付、各校で活用

③今後に向けて、児童生徒アンケートの項目をそろえる

### ●生徒指導部会 （部長）田中先生 （副部長）白濱先生 （担当）葦澤教頭

①各校の生徒指導 クラス内のトラブル 中間層を育てることに注力、複数対応を原則とする

②ほっとの分析 協調性に課題がある 小1でもゲーム時間が3時間など、学年問わず多い

③不登校児童生徒への支援について 教育支援センター登校支援室との連携